

# 日本脳炎に関する諸外国の状況

国立感染症研究所

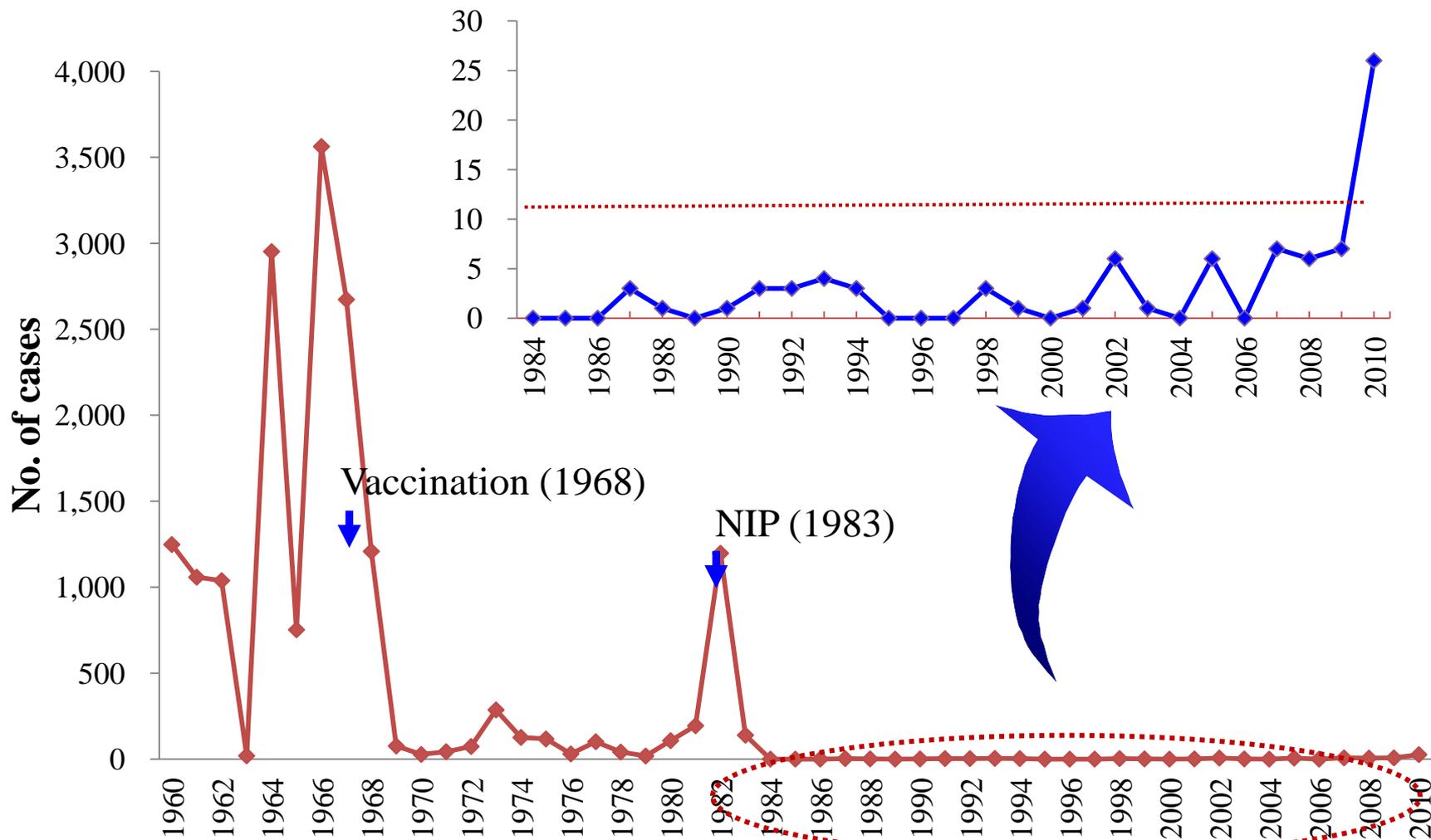
副所長 倉根 一郎

# 諸外国の日本脳炎の概況

国名	初発例	曝露地域の人口(%)	年間発生数	発生数のトレンド	予防接種プログラム
日本	1924	43,969(34%)	<10	安定	実施
オーストラリア	1995	-	<1	安定	実施
バングラデシュ	1977	106,385(75%)	-	増加	実施せず
カンボジア	1965	11,293(80%)	-	増加	実施せず
中国	1940	422,532(32%)	8,000-10,000	減少	実施
インド	1955	597,542(54%)	1,500-4,000	増加	実施せず
インドネシア	1960	116,114(52%)	-	増加	実施せず
北朝鮮	1933	8,606(38%)	-	-	-
大韓民国	1933	9,194(19%)	<20	安定	実施
ラオス	1989	4,643(78%)	-	増加	実施せず
マレーシア	1952	8,854(35%)	50-100	減少	実施
ミャンマー	1965	35,077(69%)	-	増加	実施せず
ネパール	1978	4,567(20%)	1,000-3,000	安定	実施
パプアニューギニア	1995	5,109(87%)	-	-	-
パキスタン	1983	18,536(12%)	-	増加	-
フィリピン	1950	31,081(37%)	10-50	安定	実施せず
シンガポール	1952	0	<1	安定	実施せず
スリランカ	1968	16,381(79%)	100-200	減少	実施
タイ	1964	43,364(68%)	1,500-2,500	減少	実施
ベトナム	1960	61,729(73%)	1,000-3,000	安定	実施

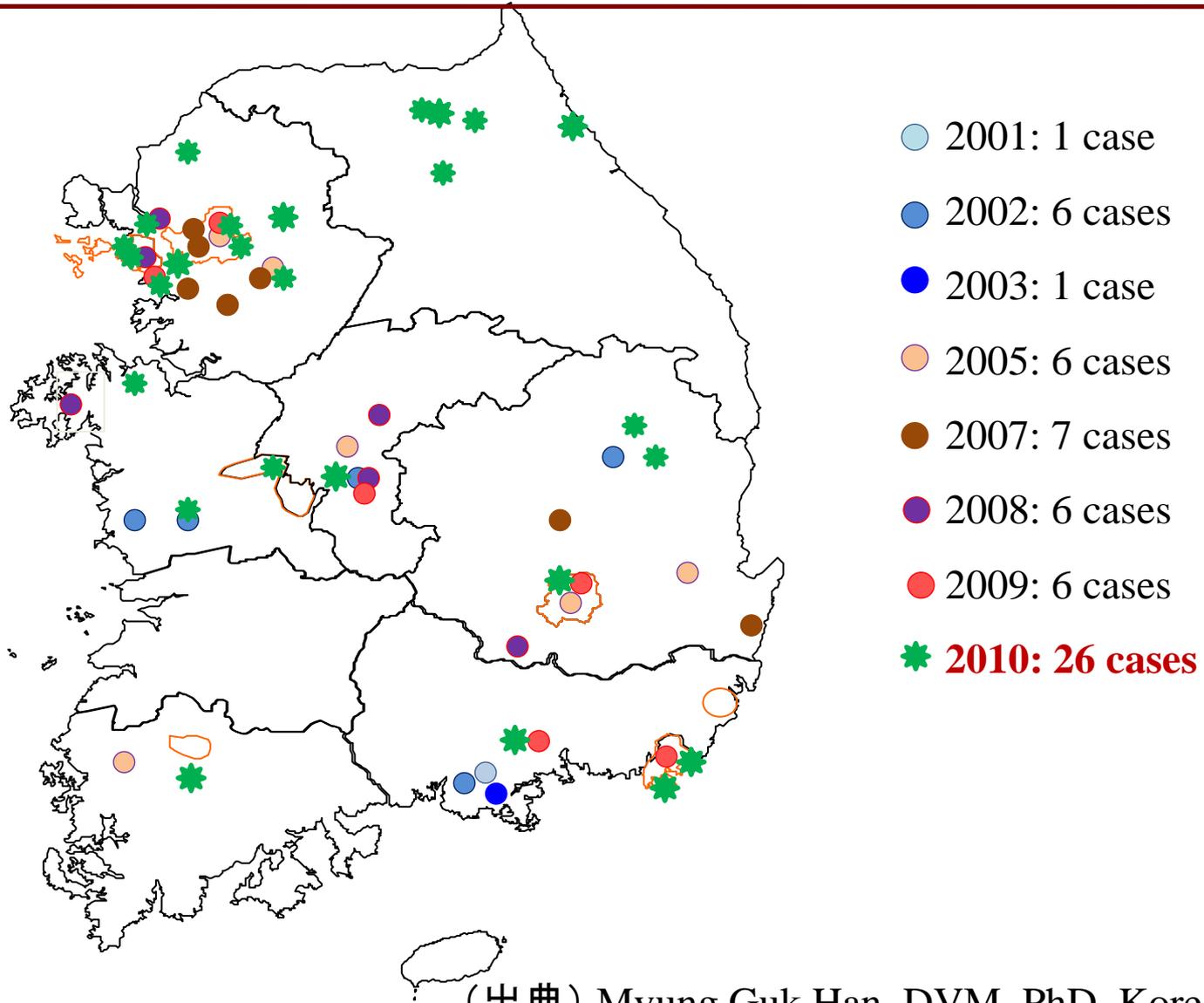
# 韓国における日本脳炎患者発生状況 -1960~2010-

# 韓国の日本文脳炎患者数 (1960 to 2010)



(出典) Myung Guk Han, DVM, PhD, Korea CDC

# 韓国 の日本脳炎患者数 ( 2001-2010 )



# 韓国の日本脳炎患者の実験室診断

- Laboratory diagnosis of JE

Year	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
No. of patient	6	1	0	6	0	7	6	6	26
No. of sample	184	171	217	202	253	258	311	324	314

韓国では、検査会社が日本脳炎に関する検査を実施していないため、韓国CDCが、遺伝子検査およびIgM捕捉ELISA法による日本脳炎特異的IgM抗体検査、中和抗体検査を実施している。下段の数字はその検査検体総数である。

日本の場合、感染研に日本脳炎疑いで検査依頼のある急性脳炎症例は、20症例を超えないが急性脳炎の報告数は平成23年度は249例であった。